

防災ポイント 1 被害を最小限に食い止めるための日頃の備え

7月16日(月)新潟県中越沖地震が発生し、その数日前までは台風4号が、8月には台風5号が日本列島に上陸し各地で多大な被害が発生するなど、全国各地で災害が多発しています。地震などの災害から身を守り、被害を最小限に食い止めるため、家族や地域で日頃の備えと心構えを確認しておきましょう。

●落下・転倒防止

食器や本などの落下、ガラスの破片、テレビや家具の転倒などが避難を邪魔したり、体に被害を与えたりします。重いものは下に軽いものは上に収納し、特に

寝室や子ども部屋は家具を固定するか、なるべく置かない工夫が必要です。



●家の中に安全な場所を

地震が起きたとき、とっさに身を守る場所が家の中にあるか確認しておきましょう。トイレのように四方が壁に囲まれている所は一般的に安全といわれています。

●消火器は目立つ場所に

火が天井に燃え移る前なら

家庭の消火器1本で十分に消し止められます。消火器は火元になりやすい台所を避け、玄関など、家族が普段出入りする目につきやすい場所に置いておきましょう。

●出入口や通路には物を置かない

安全に避難できるように、玄関など出入口までの通路に、家具や倒れやすいものを置かない。またいろいろな物を置くといざという時に出入口をふさいでしまうこともあります。

●ブロック塀の点検

安全性に欠けるブロック塀は地震のときには凶器となつて襲い掛かります。傾きやひび割れがないか定期的に点検する必要があります。



■問い合わせ先
・本庁総務課地域生活係
☎0137-84-5111
・瀬棚総合支所総務税務課地域生活係
☎0137-87-3311
・大成総合支所総務税務課地域生活係
☎01398-4-5511

防災ポイント 2 非常持ち出し品と非常備蓄品の準備

●非常持ち出し品 (例)

非常持ち出し品は、家族構成を考えて必要な分だけを用意し、非難時にすぐに持ち出せるようにしましょう。



■懐中電灯	できれば1人に1つ用意。予備の電池と電球も忘れないように。
■携帯ラジオ	小型で手回し自動充電のものも便利です。電池も十分に用意して。
■貴重品	現金(10円硬貨も)、預貯金通帳、健康保険証、その他。
■非常食・水	そのまま食べられるもの。水はペットボトルが便利。
■救急医薬品	傷薬、ばんそうこう、かぜ薬、胃腸薬、目薬。その他常備薬も忘れずに。
■その他	着替えの衣類、軍手、タオル、ビニール袋、生理用品、紙おむつなど。

●非常備蓄品 (例)

大災害が発生した場合、ライフラインの乱れにより、救援活動に遅れが生じる場合があります。災害後2～3日は対応できるように備蓄品の準備をしておきましょう。



■水	大人1人/1日=3ℓ。ペットボトルのほか、ポリ容器に水をためておくと便利。
■食料	そのまま食べられるもの。(缶詰、レトルト食品、ドライフーズなど)、チョコレートやあめ、梅干など。
■燃料	卓上コンロや固形燃料。予備のガスボンベなど簡単な自炊ができる用意
■その他	ローソク、毛布、寝袋、ラップ、食器類、ロープ、スコップなどの工具、簡易トイレなど。

災害に 備えて安心 我が家の防災

せたな警察署からお願い

事前の準備と心構え

ここ数年、全国的に地震・洪水・土砂崩れなど、様々な災害が発生して大きな被害が出ており、ここ檜山地方も例外ではありません。

地域の皆さんそれぞれが、いつ発生するかわからない災害から“自分と家族の命を守る”ため平素から地震・台風などによる災害への備えが大切です！

平素の準備と心構え

- 最低限の「非常持出品（貴重品・飲料水・非常食・生活必需品・電灯類）」などを一つにまとめ、直ぐに持ち出せるようにしておく
- 家具の固定や高いところに重い物を置かない
- 家族がバラバラになったときの連絡方法や、避難場所を決めておく

災害に関することでご不明な点がございましたら、積極的に警察署へお問い合わせください。

問い合わせ先

- せたな警察署
☎0137-84-6110

防災 ポイント 3

もし地震・災害が 起こったら!!!



2 揺れがおさまったら、すぐに火の始末をする。落ち着いて火元を消し、火災を防止する。



1 机やテーブルなどの丈夫な家具の下に身を隠し、わが身の安全を確保する。

●家にいる場合

6 避難するときはブレーカーを切り、ガス漏れに注意する。



5 テレビ・ラジオなどで正確な地震情報を聞く。

4 あわてて外に飛び出さない。



3 戸や窓を開けて出口を確保する。

●車に乗っている場合

1 運転中に大きな揺れを感じたら、徐々にスピードを落とし、ハザードランプを点滅させて道路の左側に停車してエンジンを切る。

2 カララジオなどで正確な地震情報を聞く。

3 避難する場合は、キーをつけたまま、ドアをロックせず、車検証などの貴重品を持って逃げる。



災害時の連絡方法

火事・救急 119番 警察 110番 災害用伝言ダイヤル 171番

●災害用伝言ダイヤル「171」の使用方法

- 171
- 伝言を録音する時 1 ⇒ 0000-00-0000
被災地の方は自宅の電話番号を市外局番から入力
 - 伝言を再生する時 2 ⇒ 0000-00-0000
被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番から入力

「みんな無事です」
声で伝え合う
思いとこころ